かみれん新聞

第10弾特別号

今回お届けする新聞は　とある方の特集号：：

発行年月日
2025年8月5日

発行人
塚本　和徳

編集者より
ひとこと

今回はスペシャル号です。とにかくめでたい。

酒井　登志子様

百寿　おめでとうございます。

百寿もおめでたいのですが…

ケアハウスかみれんご入所から10年目を迎えます。

百寿　おめでとうございます。

酒井登志子様　百寿おめでとうございます。

我々若輩者が百年の歴史にどんな言葉を託そうと何かしっくりこない気がして　それでも言祝ぐ気持ちを届けたくて　このような新聞を作りました。

覚えていらっしゃるでしょうか　10年前　酒井様のご自宅に伺い　最初はかみれんに申し込んだものの不安で入所が決められず『幸せに暮らせるのでしょうか』　と聞かれた私は　精一杯頑張ると伝えました。今幸せに暮らせていますか？その言葉が指標となり　一緒に生きてきた10年になりました。97歳が目標だったけど百歳が目標になってから　体も徐々にいう事を聞いてくれず　辛い日々もあったと思います。それでも百歳を迎えられて　今その場所に我々もそばにいれる事が誇らしくも思います。

皆さんのご協力があって　初めてかみれんでの生活が成り立っていきます。本人の努力と皆さんの協力に感謝をしながらこれからもかみれんでの生活をともに送っていきましょう。

ケアハウスかみれん　職員一同

・事故報告

・報告月
8月　1件 ・ 2月　3件 ・ 3月　1件

8月　職員による器物破損
2月　入れ歯紛失・転倒・外出時の迷子
3月　ベッドからのずり落ち

＊全体的に大きな事故にはつながらなかったが
気を付ければ防げた内容もあり　身体的な機能低下で
どうしようにもない事も出てきている.
対策はもちろんであるが　関係各所にすぐ報告し
連携を取れる部分は　手を貸してもらえるよう
報告をこまめに行っていく。

・ひやりはっと

・所有物へのこだわり　危険物の接触など事故にはつながらなかったが　今後の対応に注意が必要な状況が多い。
・3Fトイレの尿汚染に対しクレームが多く　ほぼ1人のしたことで不快になっている場合が多く　個人的に注意するも改善しない
・お互いの難聴も進み　相互理解にかけているところが多々ある。もともと全体的に個人主義の傾向にある入居者ではあるが　何らかの形で交流を深める機会があると　改善できる部分もあると思える。

ひやりはっと年間提出数
15件
4/3件　5/1件　6/1件　7/1件　8/2件　9/2件　10/1件
11/1件　12/0件　2025..1/2件　1/0件　3/1件

事故 ひやりはっと報告

昨年度の事故とひやりはっとの報告です。できれば報告が無い事が一番ですが　人が暮らす中で不満や事故が出てきてしまうのは致し方ないことかもしれません。できる限り快適な生活を送って頂くために これからも努力を怠らず進んでいきたいと思います。

報告内容
入居者９名 ２０２４年４月１日～２０２５年３月31日までの事故 ひやりはっと報告